

琉球タイフーン

57

琉球タイフーン57号
【発行】2016年11月
企業情報バンク沖縄

5. Asian Typhoon

北嶋 修氏

ー 台湾の観光バス炎上事故から見る観光業界の課題（第9回）

6. KBC理事長 大城眞徳氏

古典から学ぶ経営哲学

ー 先に人を立てる（第48回）

8. 緒方修の世界遺産紀行

緒方 修氏

ー 三角西港

9. UCN ～うちなーカンパニーニュース

ー TBL Advisory Co.,LTD（香港）

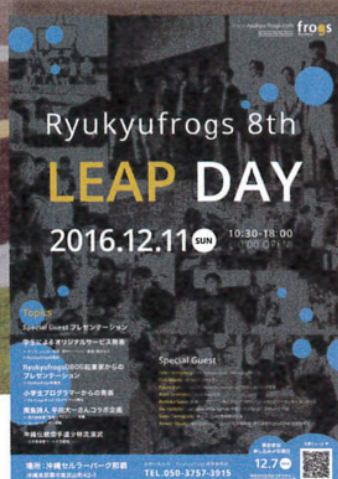
ー インスリメント株式会社（東京都）/ サンキャッチ企画（沖縄市）

We Know The Big Ocean

👁️ タイフーンの目

私たちは大海を知っている！

Ryukyufrogs Organizer 山崎 暁



企業情報バンク沖縄

<http://www.taito-ryukyu.com>

株式会社レキサス 執行役員
Ryukyufrogs Organizer

山崎 暁

私たちは大海を知っている！

沖縄の豊かな未来を作るヒントは人にあり。世界と沖縄をつなぐ未来人財を発掘・育成する。



“井の中の蛙、大海を知らず”—— 大海を知った蛙はどう変わるのだろうか？ 沖縄の未来をより良くしたいという志を持った民間企業がたちあがり、若いフログスを沖縄という「梓」から、イノベーションの聖地「シリコンバレー」へ連れ出した！！『Ryukyufrogs (リュウキュウフログス)』は、世界という「大海」で活躍できる人財を育成するプロジェクト。2007年にスタートし、回を重ねるごとに注目を集め、8期目を迎える現在では県内だけでなく県外・海外の企業やサポーターも既存の立場を超えて参画するビッグプロジェクトに成長。今回は、Ryukyufrogsのオーガナイザーを務める山崎暁氏に話を伺った。

まず、Ryukyufrogsとは何なのか、発足の経緯などを教えてください。

Ryukyufrogs（以下、フログス）は、株式会社レキサス（うるま市、比屋根隆代表、IT関連）が発起人となり、主に民間企業がサポートし運営する人財育成プロジェクトです。

弊社代表の比屋根は、大学の在学中23歳で起業して、東京とか日本の中で仕事をしていたんですが、30歳の時に初めてシリコンバレーに行って、すごい衝撃を受けたんですね。「起業する前に、学生の時にここに来ていたら全く違うスケール感で事業構想出来たのではないかと強く感じたそうです。

そういう背景から、県の情報産業振興課の方とお会いした際、沖縄が基地依存から脱却して経済的にも精神的にも自立していくには、次世代のリーダーを育てないといけない、どう育てるか、という話から、未来を背負う若者達に投資して、世界の最先端を先に体感させれば変化が起きるのではないかと、の想いを話したところ、その県の方が志のあるIT企業の社長さんに声を掛けてくれたんです。

その中の7社がスポンサーになってくれて、2007年に『IT Frogs』としてスタートしました。

フログスはどういう活動をしているのですか。また、希望者は誰でも参加できるのですか。

チャンスを平等にという考えから、沖縄在住の中学生以上の生徒・学生を対象

に、誰でも無料で参加できる仕組みで、毎年10名ほど公募します。

10日間の米国シリコンバレー研修を中心に、ビジネスの作り方、アイデアの出し方やプレゼンテーションなどを勉強しながら、約半年間かけて自ら生み出したビジネスプランを「LEAP DAY」という発表会でプレゼンしてもらいます。

中学生もビジネスプランを？

フロッグスでは、どんな人財へ成長することを目標としているのでしょうか。

必ずしも起業家を輩出したいのではなく、アントレプレナーシップ（起業家精神）を持った人間を輩出したい。

別に企業へ就職しても、教師になろうと、政治家になろうといいんです。何が違うかという点、その組織の習慣とか旧態依然の常識とかいろいろあると思うんです。でも、そんなの気にしない人。こうやるべきじゃないかと思ったら、全員が反対したとしても、こうやりましょうって言える人。オセロのように色を変えていける人。そういう人を輩出することが、

沖縄にとっても日本にとっても重要なことだろうということです。

どうやれば世の中を変えられるか、ユーザーの気持ちが変わるか、サービスを作るか、っていうメソッドをひたすらやり続けるうちに、本気で起業する子も出てきました。

今回で8期目を迎えるそうですが、これまでの道のりをお聞かせください。

2007年にスタートして、1期目はシリコンバレーを訪問するだけでした。帰ってきた報告会のところから、私もフロッグスに関わっています。参加者から、シリコンバレーを体験して自分もなにか行動したいと思っても、帰ってきて日がつたつとどうしても元にもどってしまおうと聞いて、もったいないなと思ったので、継続する行動と思考のクセづけをしようと、2期目からシリコンバレー訪問の前後に研修期間を設けることにしました。

また追い風となったのが、当時の米駐日大使ルース氏がフロッグスの取り組みを耳にされてシリコンバレーの企業に声をかけてくれたこと。それで一気に訪問できる企業がグーグルとかアップルとかに拡大しました。

協賛企業も4期目時点で約20社に増えて、協賛企業の業種も幅広い分野に渡って、もうITだけではなくなってきた。その企業の方々に話を伺うと、業界の内側からはイノベーションは起こしにくい。医療でも観光でも、どの業界でも変革していかなければ生き残っていけない。例えばITできる人財がそれぞれの業界と掛け合わさることで業界の変革が起こるかもしれないし、そういう人を育てる事は大事だよねという人が増えた。それで5期目から、『IT Frogs』

から『Ryukyufrogs』に変更したんです。

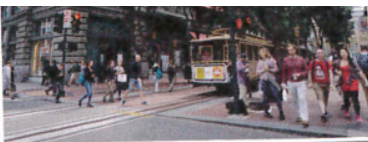
『Ryukyufrogs』の中に

ITフロッグスがあり、観光、農業、医療などのそれぞれのフロッグスがある。ゆくゆくは介護。だったらスウェーデンに、医療ならドイツへと、その業界・分野の先進地へ人財を送って、それぞれの業界でとんがった人財をつくっていききたい。



Frogs オーガナイザーの山崎 暁氏

今まではどちらかというとITリテラシーがあるかどうかで選考基準になっていきましたが、それ以降は文系の英文科とか経済とか海洋学とかいろんな子が応募するようになって、5期、6期、7期と続けて気づいたことは、理系と文系が、お互いに化学反応し合って、すばらしい成長が見られるということです。





山崎 暁 (やまざき あきら)

1967年東京都葛飾区生まれ。
1991年明治大学政治経済学部
卒業後、スターツ株式会社(現:
スターツコーポレーション株式
会社)入社。

2008年 株式会社レキサス入社。
社内制度構築や人材採用・育成
を行う他、「Ryukyufrogs」の
オーガナイザーを担当。



フロッグスを経て子供たちに変化はあり
ましたか。

全員が成功しているかという点、そんなことは無いですが、各期にキーパーソンが何名かいます。例えば2期生に名刺交換アプリを作った子がいて、それが日経ビジネスに取り上げられて、「アンドロイドカンファレンス」っていうスーパードエンジニアが集まる東大のビッグイベントに沖縄代表で、唯一の学生枠で登壇したことがあるんですよ。3期生には就職したリクルートを3年半で退職し起業した人や、6期生には高校生起業家が2名誕生しています。7期生で新しい介護サービスを発表した子は、東京でそのサービスを導入したいといってくる施設がいくつか現れて、今琉球大学の4年生ですが、来年の4月、卒業と同時に東京に行くことになっています。



人たちがいるんです。例えば、家が貧困層でサラリーマンになれればと言っていた子が、高校を休学してセブ島に留学して、英語とプログラミングを習得してい



たり、東京でいろんな会社で「インターンシップやらせてください」と言っていて、グーグルやチームラボやABEJAなどの有名企業でインターンし就職したり。「人生やるか、やらないか。とにかく失敗を恐れずに進む。」ということ、変わった子はたくさんいます。その思いに共感した海外や県外のスペシャルサポーターたちが無報酬で支援とか、メンタリングしてくれたりして、どんどんバックアップしてくれていますから。

12月には8期生の発表会「LEAP DAY」が予定されていますね。

12月11日に沖縄セルラーパーク那覇で開催します。今回のコンセプトは「クリエイト・ザ・フューチャー」。年代を超えて、未来を創っていくようになっていう人たちが集まるイベントにしようかなって。

新しい取り組みで、フロッグス卒業生起業家2人によるプレゼンや、社会人からのビジネスプランプレゼンも準備しています。社会人の本気も見せようかなと。本当に面白い事業であれば投資したいという話が飛び出すかもしれません。

今後の展開についてお願いします。

フロッグスが注目される中で、他行政とか県外企業から、このコンテンツ自体を購入したいとの声があって、今後、琉球を変えたフロッグスという展開が全国へ広まるかもしれません。また、県内外の企業さんからの要望もあって、社員教育の分野も考えていきたいです。

フロッグスとしては、これだけ人材育成のコンテンツがあって、公的な役割を果たす仕組みづくりも出てきた。そして沖縄を支える重鎮企業がスポンサーとして名乗りを上げ始めてきたので、本格的にオール沖縄で未来人材をつくるという象徴にしていきたいです。

frogs
Ryukyu

『LEAP DAY』に参加ご希望の方は、12月7日までにホームページからお申し込みください。

<https://www.ryukyu-frogs.com/>

Lexues

株式会社レキサス
Lexues Inc.
代表取締役社長 比屋根 隆

設立：1998年10月 資本金：12,500万円
本社：沖縄県うるま市州崎14-17 沖縄IT津梁パーク内
電話：098-921-3800 FAX：098-921-3802
宜野座オフィス：沖縄県宜野座村松田1443
電話：098-983-2170 FAX：098-983-2171